

## (5) 共通接地電路への適用

数台の負荷を共通接地線に接続して使用する場合、図のように $M_1 \sim M_3$ 機には漏電しゃ断器が取り付けられ、 $M_4$ には取り付けがなされていないような場合、 $M_4$ 機の金属ケースに漏電し、金属ケースの対地電圧が上昇すると共通接地線を通じ、他の健全な機器( $M_1 \sim M_3$ )のケースの対地電圧も上昇し危険になりますが、 $M_1 \sim M_3$ 機の漏電しゃ断器は動作しないので、危険電圧は持続することになります。したがって、共通接地の場合には、すべての負荷機器に漏電しゃ断器を取り付ける必要があります。

